

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 地域循環共生システム研究室 学術専門職員 募集のお知らせ

1. 職名及び人数： 学術専門職員（特定有期雇用教職員） 1名
2. 契約期間： 2023年4月1日～2024年3月31日
(適任者であれば、2023年4月16日または5月1日以降の着任も可)
3. 更新の有無： 予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮の上、年度単位により更新する場合があります。
ただし、更新は2回、2026年3月31日までを限度とする。
4. 試用期間： 採用された日から6月間。
5. 就業場所： 東京大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷7-3-1）
最寄駅：地下鉄千代田線 根津駅 徒歩12分
南北線 東大前駅 徒歩10分
丸の内線 本郷三丁目駅 徒歩15分
6. 所属： 都市工学専攻 地域循環共生システム研究室
7. 業務内容： 資源循環および脱炭素社会（カーボンニュートラル）に関する研究支援業務
8. 就業日・就業時間： 週5日（月～金）1日実働7時間45分 9:00～17:45（休憩12:00～13:00）
※時間外労働を命じることがある。
※業務の都合により変更することがある。
9. 休日： 土日、祝日法に基づく休日、12月29日～1月3日は休日。
10. 休暇： ① 年次有給休暇 就業規則に基づき付与
② 特別休暇 就業規則に基づき付与
11. 賃金等： 年俸制を適用し、業績・成果手当を含め、東京大学の規定に基づき、資格、経験等に応じて決定。
通勤手当（当方で定める支給要件を満たした場合は、当方規定により算定した額を支給、最高55,000円/月）
超過勤務手当（超過勤務を命ぜられ勤務した場合に支給。勤務1時間当たりの給与額に125/100 を乗じた額を単価とする。）
退職手当、賞与は無し。
原則として毎月17日支給。
12. 加入保険： 文部科学省共済組合、雇用保険に加入。
13. 災害補償： 労働上の災害や通勤時の災害については、労働者災害補償保険法および東京大学教職員法定外災害補償規程により補償。
14. 応募資格： 修士または学士の学位を取得した者、採用日までに取得見込みの者
環境学または工学の基礎的な知識を有する者。日本語での研究報告書および資料作成の能力を有する者。Microsoft Excelによる数値解析の経験を有することが望ましい。
15. 応募書類： ① 東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし、作成すること。）
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>)
② 研究業績リスト(もしあれば)
③ これまでの研究の概要（研究経験があれば；A4で1～2ページ程度）
④ プラスチックの資源循環システムの研究への抱負（A4で1ページ程度）
⑤ 応募者に関して意見を伺える方 2名の氏名および所属・メールアドレス
16. 応募方法： 封筒の表に「都市工学専攻 地域循環共生システム研究室 学術専門職員 応募書類在中」と朱書きし、応募書類を下記の送付先に郵送（書類郵送の旨を電子メールで連絡）

または、件名を「都市工学専攻 地域循環共生システム研究室 学術専門職員 応募書類」とし、応募書類を担当（中谷）宛に電子メール添付で送付

17. 応募締切： 2023年1月27日（金）必着
書類選考の後、面接試験（対面またはオンライン）受験の可否を連絡します。
ただし、適任者が見つかり次第、応募を締め切ります。
18. 書類送付先： 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 地域循環共生システム研究室
担当：中谷 隼（nakatani@env.t.u-tokyo.ac.jp）
19. 募集者名称： 国立大学法人東京大学
20. 受動喫煙防止措置の状況： 敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
21. 留意事項： 採用時点で、外国法人、外国政府等と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性がある。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要がある。
22. その他： 応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
応募書類の返却はいたしません。当方で責任を持って廃棄します。
勤務条件の詳細は、東京大学特定有期雇用教職員就業規則等をご覧ください。
(http://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/kisoku_mokuji_j.html)
東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。